

令和6年8月19日00時50分頃の茨城県北部の地震について

令和6年8月19日00時50分頃に発生した茨城県北部を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

震度5弱を観測

震度5弱 茨城県

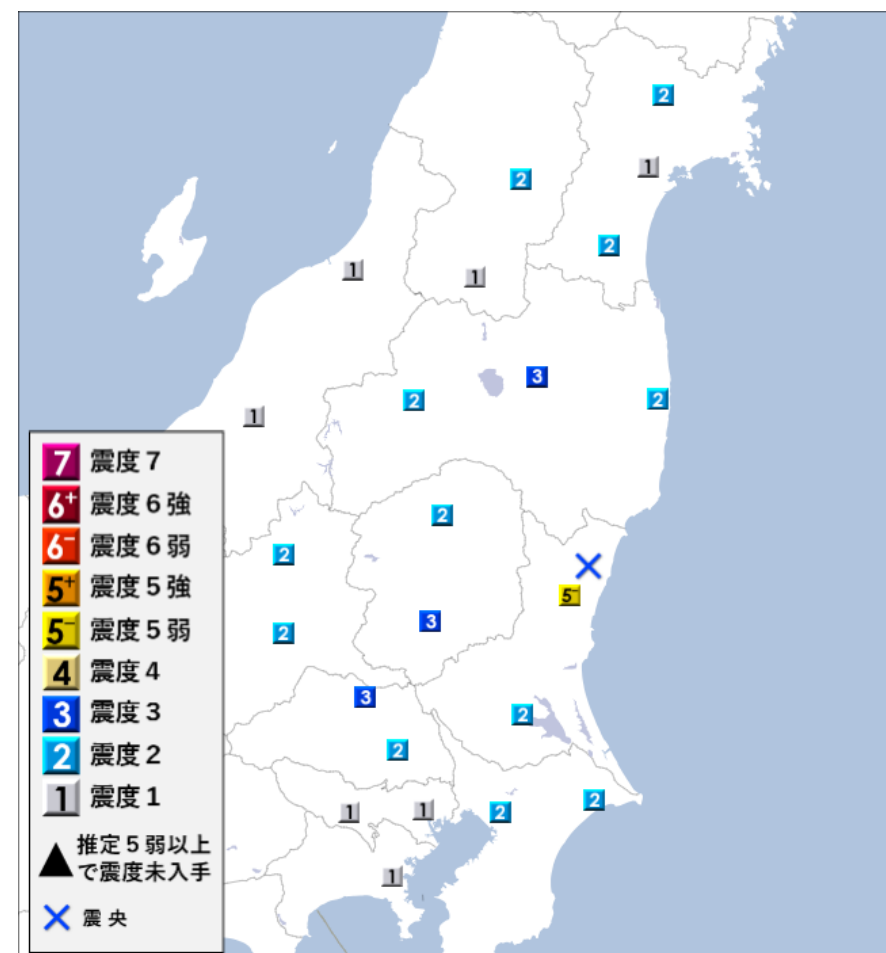
(揺れの強かった地域)

落石や崖崩れなどに注意

※1週間程度(特に今後2～3日の間)

最大震度5弱程度の地震に注意

8月19日00時55分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	8月19日00時50分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	8月19日00時50分
マグニチュード	5.1(暫定値)
発生場所	茨城県北部 深さ 8km(暫定値;速報値 ごく浅いから更新)
震度	【最大震度5弱】茨城県の日立市(ひたちし)で震度5弱を観測したほか、東北地方・北陸地方・関東地方で震度4～1を観測
地震活動の状況 19日02時15分現在	00時48分頃の地震(最大震度4)、00時50分頃の地震(最大震度5弱)発生後、震度1以上を観測した地震の発生なし
長周期地震動の観測状況	階級1以上を観測した地域はなし

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

(今後の地震活動の見通し)

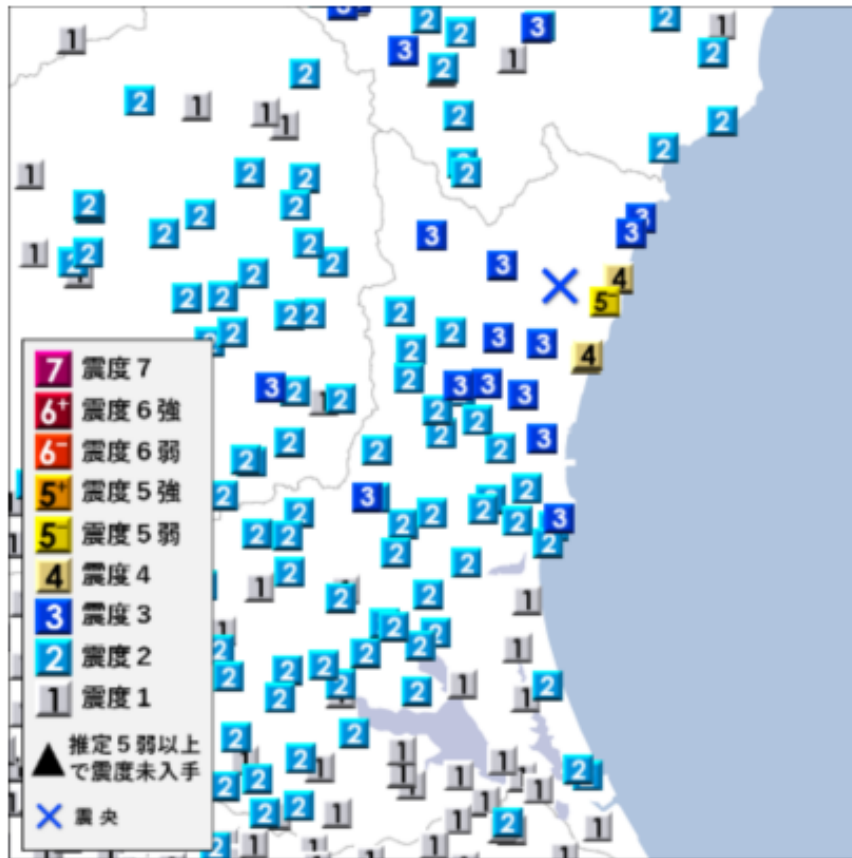
過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意してください。特に今後2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

(その他)

この地震とほぼ同じ場所で19日00時48分頃にもM4.7(速報値)の地震も発生しており、最大震度4を観測しています。

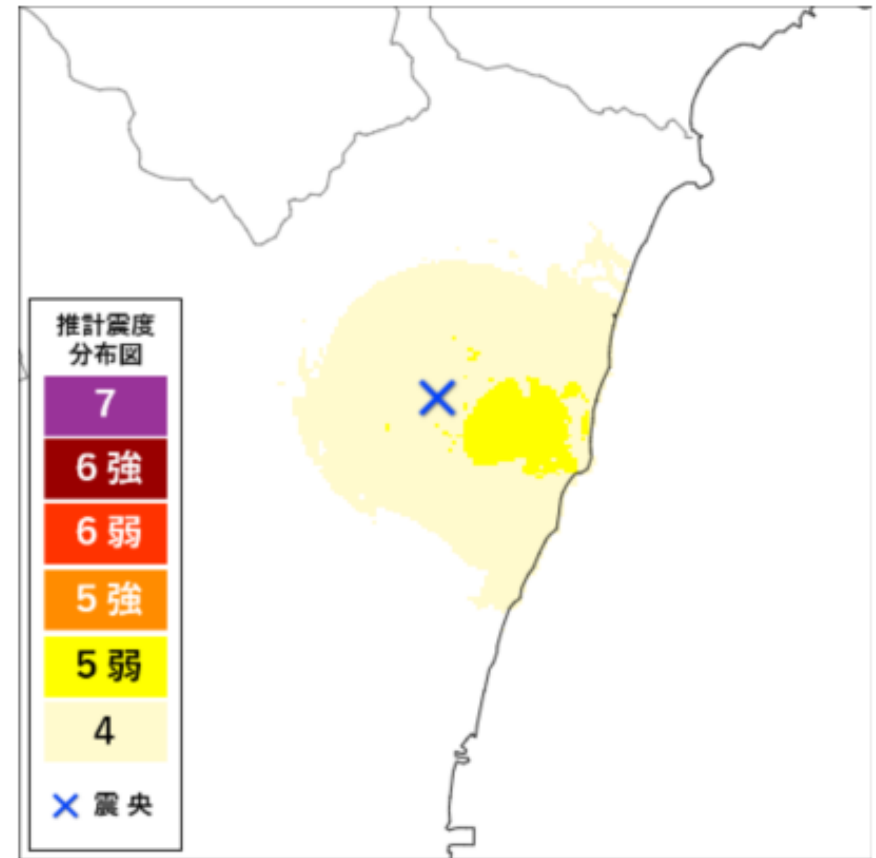
00時50分頃の地震の震度分布図・推計震度分布図

【各観測点の震度】



8月19日00時55分発表

推計震度分布図



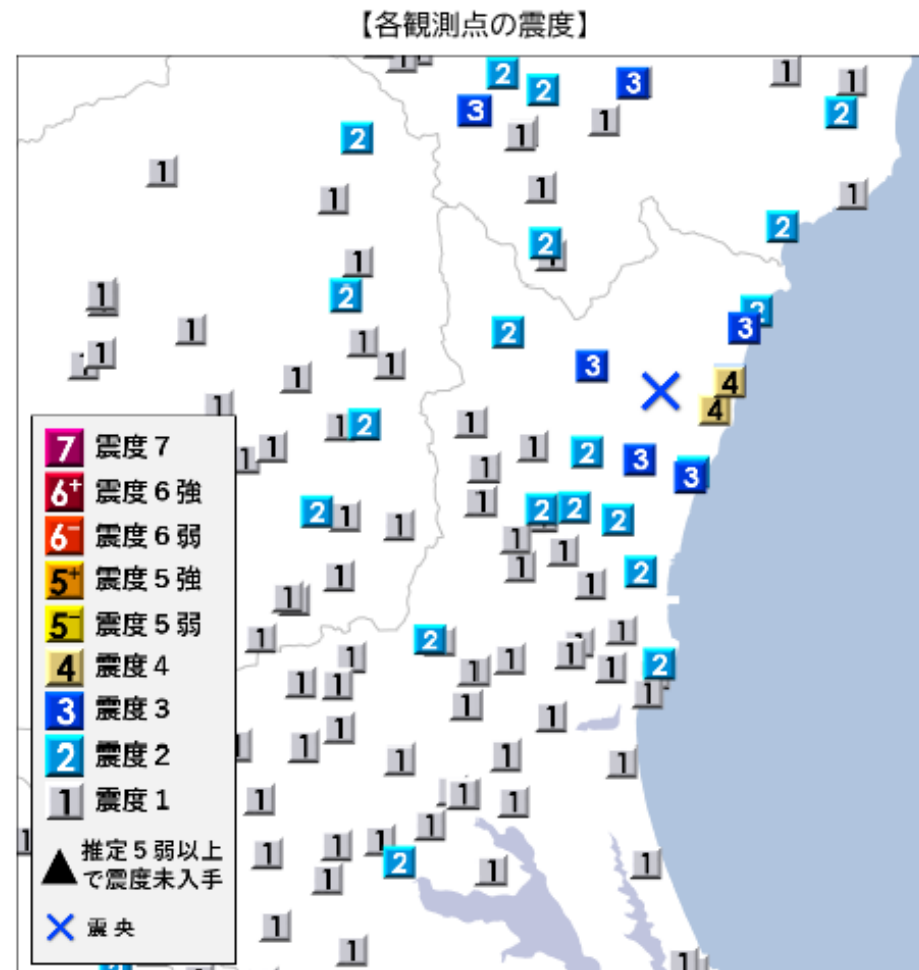
※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

地震情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

00時48分頃の地震の震度分布図



8月19日00時53分発表

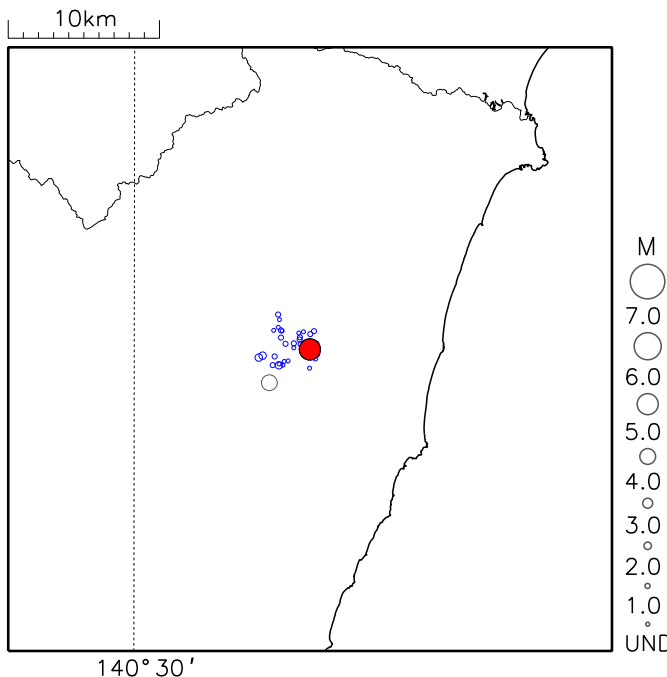
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

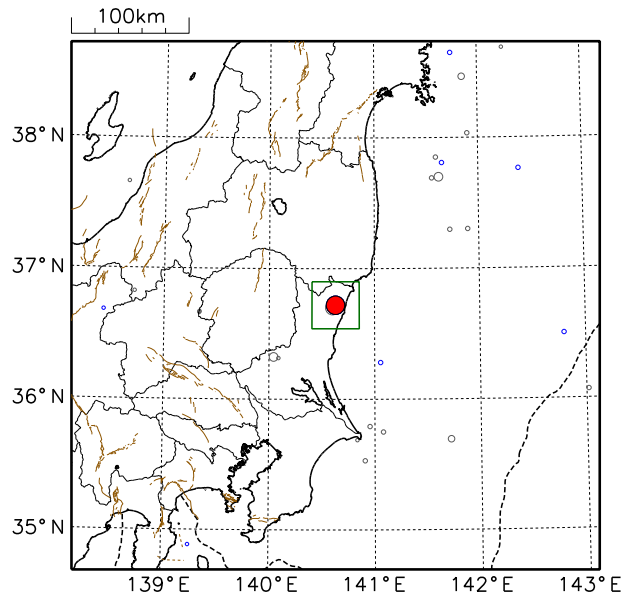
2024 08 18 22:00 -- 2024 08 19 01:50



震央分布図（広域図）

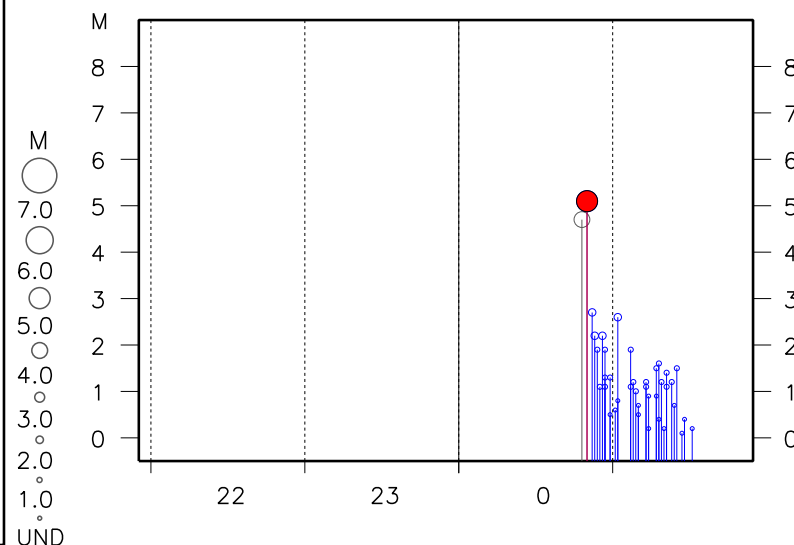
深さ0 -- 100km、 M 全て

2024 08 18 22:00 -- 2024 08 19 01:50



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2024 08 18 22:00 -- 2024 08 19 01:50



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

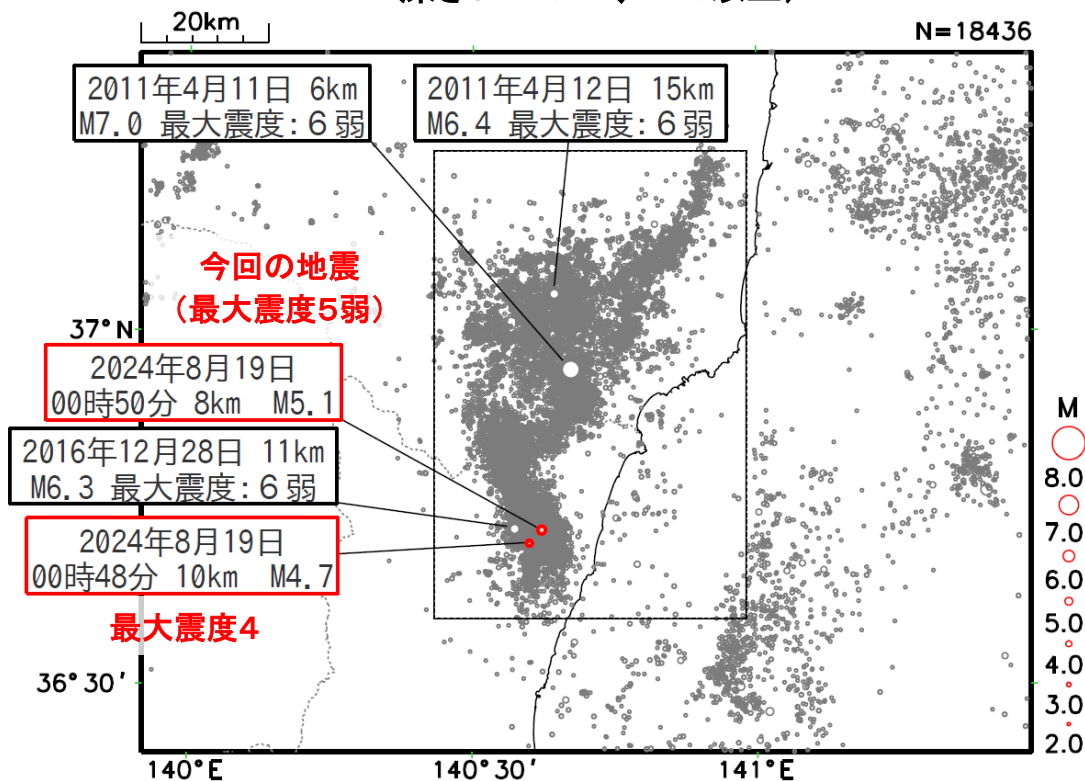
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

令和6年8月19日 茨城県北部の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

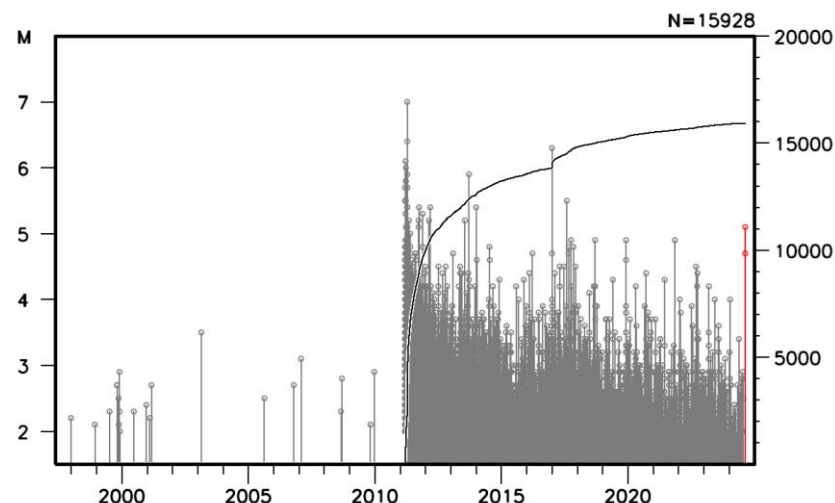
(1997年10月1日～2024年8月19日00時50分、
深さ0～20km、M2.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

2024年8月19日の地震を赤く表示

左図の四角形領域内の地震活動経過図 および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

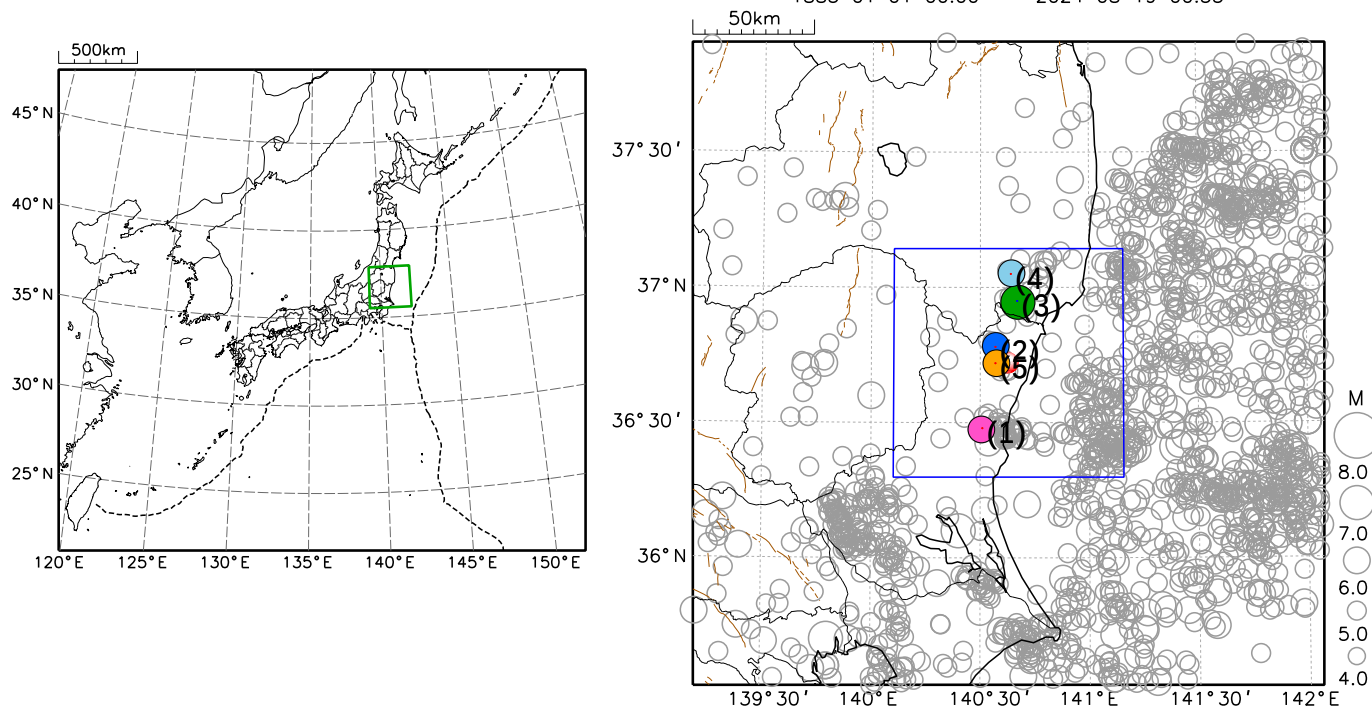
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

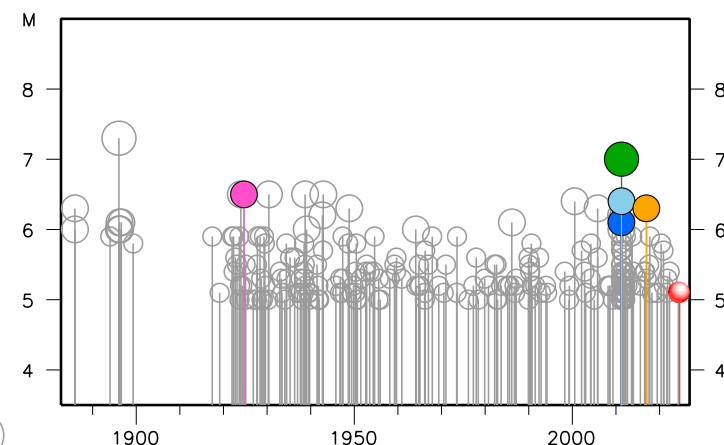
M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2024 08 19 00:55



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1)，青：(2)，緑：(3)，水：(4)，黄：(5)

(1) 1924年09月18日 M:6.5 茨城県北部

(2) 2011年03月19日 M:6.1 茨城県北部

(3) 2011年04月11日 M:7.0 福島県浜通り

(4) 2011年04月12日 M:6.4 福島県中通り

(5) 2016年12月28日 M:6.3 茨城県北部

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。

・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。

・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。

名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。

・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。

名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。

・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。

・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。

検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

発表した情報などについて

- 津波警報等の発表状況

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

- 津波の観測状況

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>

- 潮位観測情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>

- 地震情報

https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

- 推計震度分布図

https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

- 長周期地震動に関する観測情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

- 緊急地震速報の発表状況

https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

- 発震機構解

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>

- 震央分布

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>

- 地震から身を守るために

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/index.html

- 津波から身を守るために

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/index.html

- 気象庁防災情報X(旧Twitter)

https://twitter.com/JMA_bousai

